

ふくしの ひろば

鹿児島

ふれあいネットワーク

<http://www.kaken-shakyo.jp/>

第 243 号

令和4年11月1日発行



赤い羽根共同募金(鹿屋市ミシムタ鹿屋店)

長寿社会推進部

- シルバー文化作品展入賞者紹介 2
- あなたのまちのアクティブシニア
「尾之間老人クラブ谷崎会」(屋久島町) 3

地域福祉部

- BoonBoonFesta!!2022 3
- 地域の課題解決ツール「支え合いマップ」 4

ボランティアセンター

- 学生ボランティア紹介 5

「小さな親切」運動県本部

- 「小さな親切」県知事賞作品 6
- てのひら感謝状「小さな親切」運動県本部賞 7

福祉人材・研修センター

- 北薩地域介護の職場就職面談会のご案内 7

総務部

- 令和4年度すこやか基金助成事業 8

福祉人材・研修センター

- 福利厚生センター「ソウェルクラブ」 9

介護実習・普及センター

- 楽しく学べる介護講座(11月~2月)のご案内 10

県共同募金会

- 共同募金運動スタート、空の第一便伝達式 11

インフォメーション

- 民間社会福祉施設職員退職共済制度 12



シルバー文化作品展 2年ぶりの開催!!

高齢者の趣味活動や文化創作意欲を高めることにより、心身ともにすこやかなゆとりある生きがいを推進するため、9月7日から5日間、県歴史・美術センター黎明館にて、第31回シルバー文化作品展を開催いたしました。

60歳から95歳までの力作250点が会場を賑わせ、来場者からは、“年齢を感じさせない作品で、コロナ禍の中、元気を貰った。”“プロ並みの作品にびっくりした。”などの感想が寄せられました。上位入賞者は次のとおりです。

◆鹿児島県知事賞

洋画の部 「森の水鏡」 谷口 隆氏



◆特別賞 寺園勝志賞

日本画の部 「儂む」 室屋 勝男氏



◆鹿児島県社会福祉協議会会長賞

日本画の部

「馬頭観音」

下野 悦郎氏



洋画の部

「寂光」

榎山 高盛氏



書の部

「臨何紹基」

岡村 政子氏



工芸の部

「豊年満作の結い「田の神さあ」

松田 浩明氏



写真の部

「寄り添って」

徳田 廣行氏



彫刻の部

「樹陰のささやき」

上竹 利彦氏



◆審査委員長賞

洋画の部	「Explosion2022」	西口 純一氏
工芸の部	「愛瓢Ⅲ灯癒しⅡ」	新村 博昭氏
彫刻の部	「老夫婦の愛」	田上 博明氏

このほか、金賞16名、銀賞19名、銅賞15名、奨励賞10名、高齢者賞4名の皆様が受賞されました。なお、全ての入賞者につきましては、鹿児島県社会福祉協議会ホームページでご覧いただけます。

来年も、多くの方々のご応募をお待ちしております。



〈展示風景〉

あなたのまちのアクティブシニア

「尾之間老人クラブ谷崎会」(屋久島町)

おのあいた

私たちが住む尾之間集落は、屋久島の南部に位置し、409世帯、人口714人、高齢化率は42%と高齢化が進んでいます。年間を通して温暖な気候を生かしたポンカン、タンカンや輸送野菜等を栽培しています。

「尾之間老人クラブ谷崎会」は、会員一人ひとりが自らの生活を豊かにするために、みんなで助け合いながら、健康増進、教養、趣味活動の推進及び社会奉仕活動の実現を図ることを目的に昭和46年に設立して、現在会員97名で活動しています。

令和3年11月20日に設立50周年を迎えて、式典では功労者の表彰や記念講演を行い、祝賀会では歌謡シヨウや踊りにカラオケ等もして盛大なものとなりました。

日常の活動としては、主に一人暮らし高齢者への家庭訪問による声かけや安否確認などの見守り活動を実施しています。また、美化活動としては路傍花壇への花苗の植え付け、花壇の手入れ、水やり等管理作業をしています。



会長 有馬 啓
 <連絡先>
 屋久島町老人クラブ連合会
 ☎ 0997-47-2518

全国一斉の「社会奉仕の日」には、落治いの県道、町道、農道等にポイ捨てしている散乱ごみの収集作業をしています。

一方、コロナ禍の中で会員が楽しみにしている忘年会や誕生会及び集落主催の「温泉まつり」が2年続けて中止になりました。

このような状況の中で、7月16日にコロナ感染対策を図りながら、尾之間婦人会と子ども会育成会との交流グラウンドゴルフ大会を開催しました。当日は95名の参加者で、中には初めてクラブを握る人もいましたが、歓声や笑い声が聞こえてきて和やかな雰囲気の中で交流会は行われました。

又、行事等に参加できない会員のために、活動内容を紹介する会報「谷崎会だより」を発行しています。

今後も、引き続きこれまでの活動を継続していくとともに、新規会員の加入を促進していきたいと考えています。

このコーナーでは、すこやか長寿社会運動を实践され、いきいきと社会参加されている団体・個人を紹介しています。



令和4年9月24日(土)、川商ホール第2ホールで「Boon Boon Festa!!2022」(知的障害関係施設文化祭)を開催いたしました。

コロナ禍で観客は関係者のみとなりましたが、各施設で出演を目指し、日々練習している成果を十分に発揮しました。

また、プロのミュージシャンにも演奏いただき、素晴らしいクラシックの音色に心を打たれ、その後は音楽で体を動かし、会場全体で盛り上がった「Boon Boon Festa!!」となりました。

令和5年度は、9月22日(金)川商ホール第1ホールで開催いたします。ぜひ、遊びに来てください!



サポートなごみ・ハート愛「龍舞」



希望の園「知恵っ子よされ」



新葉学園「エイサー太鼓・海の声」



障害福祉サービス事業所きらら



トリオペイサージュ《賛助出演》



会場全体と一緒に盛り上がりました!

「支え合いマップ」と一緒に地域の課題に取り組みませんか!?



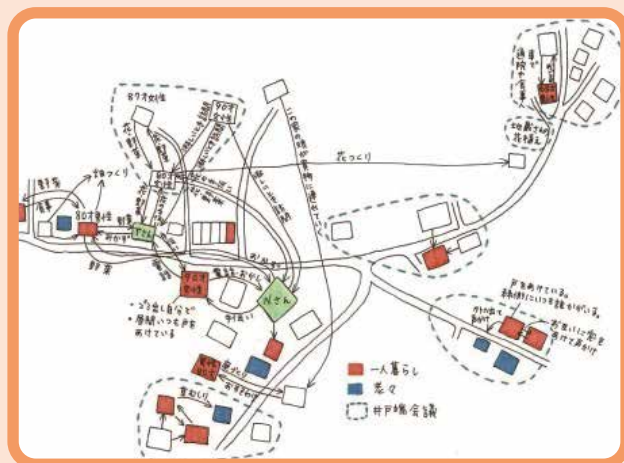
鹿児島県社協では「鹿児島県ご近所支え合いマップセンター」を設置し、市町村社協と連携して「支え合いマップ」の作成を推進しています。

支え合いマップとは？



埼玉県に住民流福祉総合研究所の木原孝久氏が考案されたもので、**地域住民・関係者から聞き取った内容**を見える化し、**住民の関わり合いを線で結びながら支援の必要な方や地域の取り組み課題を抽出するための地図**です。この地図をもとに、社協、行政、福祉専門職の方と住民の皆様が一緒になって支援の方策や課題の解決方策を考えながら、地域福祉活動に結びつけていきます。

「マップ作り」から、新たな地域活動が始まります！



(支え合いマップの一例)

マップを作ったら、ずっと住んでいる自分の集落のことを改めて見つめ直すことができた。

「自分たちが住んでいる地域は自分たちで支え合おう」という意識を、一緒にマップを作った方々と共有することができた。

(支え合いマップを作成した方の声)

マップ作りのメリット

抽出

支え合いマップづくりによる
地域課題の把握

取組

地域課題への
取組・支援

発展

災害緊急時の
支援体制づくり等

新型コロナウイルスの影響により、外出の自粛や地域活動の制限によって支援を必要とする方が孤立するなどの新たな課題が生じています。

「支え合いマップ」をきっかけに、ご近所同士に眠っている困りごとを「見える化」して、住民の皆様と一緒に解決できる機会を提供します！

ぜひ、マップを一緒に作成しませんか!?



<マップづくりの様子>

問合せ先 鹿児島県社会福祉協議会地域福祉部 TEL 099-257-3855

学生ボランティア紹介

志學館大学ボランティアサークル

鹿児島アンカークラブ

「友情と奉仕」を
モットーに

今回は、パイロットクラブの青少年クラブとして日本で一番早くに設立された鹿児島アンカークラブを紹介します。

「友情と奉仕」をモットーに、ジャンルを問わずにボランティア活動をされる志學館大学64人の学生サークルです。

※パイロットクラブとは…“友情と奉仕”というパイロット精神のもと、脳関連障害の支援を中心に、地域に密着した活動をする団体

現在の主な活動は…

すくすく学級…知的障害のある子どもたちと遊びやレクリエーションなどを通じたふれ合い活動の支援。

カンカンボランティア…植樹活動などの森林ボランティアや農業ボランティアに参加。直近では、吹上浜海浜公園で黒松1000本植樹に参加。

募金活動…緑の募金や赤い羽根共同募金など街頭での募金活動に参加。



ここが魅力

アンカークラブは、知的障害者支援、環境保全、募金活動など取り組む分野が幅広いため、色々な人との出会いがあります。

また、全国に8つのアンカークラブがあるので他県の大学生ともつながることができます。



コロナ禍で

ここ2年ほどは、サークルに所属する全員の集合機会をつくりにくく、部員同士の顔が見えにくい中ですが、SNSを活用して連絡やコミュニケーションに努めています。

最近は徐々に、活動の回数も増えつつありますので、検温・消毒・マスクなどの基本的な感染対策を心がけて活動しています。



部長に聞いてみました

ボランティア活動を通して色々な人と出会い、たくさんの笑顔と元気をもらっています。

サークルの仲間にもそんな機会が多く提供できるよう、部長としてボランティア活動に参加しやすい環境づくりができればと思っています。

今後は、子どもたちへの紙芝居や寸劇などを通して、自転車用ヘルメットの着用により脳を守ることの大切さやいじめを防ぐための啓発活動にもチャレンジしてみたいです。



和田 玲奈 さん

「小さな親切」作文コンクール

鹿児島県知事賞

言葉で紡ぐ

鹿児島県立鶴丸高等学校 一年

山田島 沙希

私たちの周りは、言葉であふれている。

目に見える文字も、聞こえてくる声も、胸に秘めた思いも…。どれも言葉である。そして私たちは、そうした言葉に見ず知らずのうちに支えられている。同時に傷つけられることもある。しかし、言葉とは誰かに苦しい思いをさせるためのものではない。誰かを、そして自分自身を奮い立たせ、更なる希望を見出すためにあるのだと思う。

振り返ってみると、入学式の日だった。

頬に心地よいのどかな風。木々を照らすあたたかな日差し。澄み切った青空。真新しい制服に革靴。目に映るどの風景も、肌で感じるものも…その全てが清々しい。だが、いつまでたっても張り詰めた緊張感がほどけない。まさに新生活の門出にぴったりの一日だった。式も順調に進み、初めてのホームルーム。これから三年間

お世話になる学び舎へと足を踏み入れた。教室の座席を確認し、着席する。机一面に広げられた書類に、輝かしい組章。憧れの学校に入学できた嬉しさが心の中で

山積み状態になっている。だが、どうも落ち着かない。これからスタートする高校生活への期待や不安が入り混じった、一言では言い表せない感情。この得体の知れない感情を片付けるべく、まずは机の上にあるものを整理する。手作りのカレンダーはカバンの中へ、種類の多い書類はファイルに、組章は制服につけた。こうして一年間共に学ぶ机が本来の姿を現したのだが、様子がおかしい。机の隅の一角所だけ黒っぽいのだ。何だろう…と不思議に思い顔を近づけた。

この机を使う新入生のあなたへ

大丈夫

不安だけに駆られないで

きつと楽しい日々が待っています

机の一部分、仲間はすれのように日焼けしていると思われたところに、小さくそう綴られていた。これを目にしたとき、時

が止まったかのように思えた。なんと潔い言葉なのだろう…。確かに小さい文字ではあったが、私の胸には強く、優しく、それでいて自然と響いた。複雑な思いを抱いていた心に真っ直ぐに響いたのであった。自分でも不思議だった。名前も知らない誰かの言葉が自分をこんなにも勇気づけることを…心を動かすことを…。とても嬉しかった。自分はまだ求めていただけなのかもしれない。「大丈夫」「なんとかなるよ」と誰かに慰めてもらうことを…。

この言葉を文字にして届けてくれた先輩はどんな人なのだろう。私と同じように一年前、不安に駆られていたのだろうか。だから自分の経験を言葉にして書き留めてくれたのだろうか。それとも、ただ机に落書きをしただけなのだろうか。きつと

とても親切な人なのだろう。顔をも知らなければ、名前も知らない新入生の心を動かし、得体の知れない感情に押し潰されそうだった私を救い出してくれたのだから。「勇気をもらいました。ありがとうございます。」と見ず知らずの先輩に伝えたい。

言葉には無数の力がある。目の前にいる相手や自分自身はもちろん、出会ったことのない人の心をも揺さぶる力をもっている。この春、私は身をもってそれを実感した。お互い顔は見えないものの、心を動かした親切な先輩のように、見えない人に配慮のできる言葉の使い手になりたい。そして校是「For Others」の精神を常に心に灯せる人でありたい。



このひら感謝状

「小さな親切」運動鹿児島県本部賞

『拝啓 7月8日鹿児島中央駅で、公衆電話に十円を入れて下さった方』

鹿児島県立鹿児島盲学校 高等部 三年

楠元 康太

先日は公衆電話に十円玉を入れてくださり、ありがとうございます。感謝の気持ちをお伝えしなかったので、今こうして手紙にしています。

あれは、運転見合わせで乗るはずだった電車に乗れなくなってしまう、父に電話をしていた時でした。十円玉を一枚しか準備しておらず、途中で電話が切れてしまった私は、どうして良いか分からず、焦っていました。その時、通りかかって声をかけて下さったのが、貴方様でした。あの時の私は、焦りと不安と緊張で頭がうまく回っていませんでした。そんな私に、優しく声をかけて下さったお陰で、少し落ち着いて対応できるようになりました。あの後、無事電話がつながり、父と話ができました。また、貴方様が駅員の方に支援をお願いしてくださったお陰で、新幹線に乗り無事川内まで帰ることができました。貴方様の親切がなければ、連絡がつかず、更に焦っていたと思います。

困っている私を助けてくださり、本当にありがとうございました。あの後も、白杖を持っていると「お手伝いしましょうか」「道分かりますか」等、声を掛けて下さった方がいて、私はとても幸せ者だなあと感じました。

私も困っている方がいたら、手を差し伸べられるような人間になりたいです。これからもお元気でお過ごしください。最後に、またどこかでもう一度お会いできそうですように……。

～あなたの就職活動をお手伝いします!! お気軽にご参加ください～

令和4年度

「北薩地域 介護の職場就職面談会」のご案内

○日時 令和4年11月26日(土) 10:00～16:00
○場所 薩摩川内市総合福祉会館 (薩摩川内市永利町4107-1)

シニア
就職応援
セミナー

10:00～12:00 (受付 9:30～)
【講師】 社会福祉法人同仁会
特別養護老人ホームさつま園 施設長 柿添信義氏
【対象】 概ね55歳以上で、介護に興味・関心がある方
※電話でも受け付けます (099-258-7888)

受講申込書↓



情報提供・資格取得等
相談コーナーも同時開催

就職
面談会

13:00～16:00 (受付 12:30～15:30)
★参加費 入場無料 事前申込・履歴書不要 入退場自由
★対象者 介護等職場への就職希望者
未経験者OK! 無資格者OK! シニアの方も大歓迎!
★参加法人 25法人(予定) ※参加法人の情報は資料がまとまり次第、県社協HPで公開予定

一般の方(シニアの方も含む)及び
大学・短大・専門学校生等
※学生: 令和5年3月卒業予定者

○主催 鹿児島県・社会福祉法人 鹿児島県社会福祉協議会

※ 新型コロナウイルス感染症の状況や荒天等のため開催できない場合があります。

直近の状況をホームページ等で必ずご確認ください。

※ ご来場の際は、マスクの着用をお願いします。また、発熱や風邪の症状がある場合は、参加をお控えくださいますようお願いいたします

○お問い合わせ先

鹿児島県社会福祉協議会 福祉人材・研修センター
☎ 099-258-7888 FAX 099-250-9363

令和4年度 すこやか基金助成事業

すこやか基金助成事業は、平成10年から民間社会福祉事業、社会福祉施設活動及びボランティア活動の推進等を図ることを目的に、本会への寄付金を同基金に積立てその運用果実により実施しております。

これまで、障害者支援や子育て支援を行っている団体へ助成を行ってまいりました。

今年度については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて増加する生活困窮者に対する支援活動を行うNPO法人等や民間社会福祉団体を支援します。

申請方法等については、本会ホームページよりご確認ください。

➔ URL : <http://www.kaken-shakyo.jp/>

助成対象

鹿児島県内に事業所を有し、**県内の自立相談支援機関と連携して**生活困窮者の支援を行っているNPO法人や民間社会福祉団体

助成内容

1団体 上限：10万円（最大13団体）
※厳正な書類審査のうえ、助成団体を決定します。

対象経費

生活困窮者支援の実施に要する物品購入経費
【経費の例】

- ・ 事務局の事務効率向上のための事務用機器
(例：パソコン、コピー複合機、電話機、事務用机・椅子等)
- ・ 新型コロナウイルス感染症予防のための物品
(例：空気清浄機、検温器、ソープディスペンサー等)
- ・ 事務局のWi-Fi等通信環境整備に係る物品
(例：ヘッドセット、Webカメラ、Wi-Fiルーター等)
※支援に係る人件費や光熱水道費等は対象外です。

主な要件

- ① 自立相談支援機関と連携して生活困窮者の自立支援を行っている団体
- ② 新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて、支援に係る業務量が増加し、事業実施にあたり設備の整備が必要であると認められること。
- ③ 助成金の受入手続きや経理事務を確実にこなせること。
※助成金の送金先口座は、原則として**団体名義の口座に限り**ます。
- ④ 事業計画書、予算書、決算書、事業報告書等の作成をすること。
- ⑤ 本会広報誌や公式SNS等への事業成果や写真等の公表に同意すること。

募集期間及び事業実施期間

【募集期間】

令和4年11月1日～令和4年11月30日

【事業実施期間】

交付決定を受けてから令和5年2月28日までに事業実績報告等の助成金の全ての手続きを終了すること。

お問い合わせ先

社会福祉法人 鹿児島県社会福祉協議会 総務部
TEL:099-257-3855 FAX:099-251-6779
E-mail:soumu@kaken-shakyo.jp

受付時間 8:30～17:15（土日、祝日除く）



福祉の職場で働く人の福利厚生を応援!!

魅力ある職場づくりにソウェルクラブがお役に立ちます。

福利厚生センター (ソウェルクラブ)とは

福利厚生センターは、社会福祉事業従事者の福利厚生の増進を図ることを目的に設立され、厚生労働大臣指定の、当該事業を行う全国唯一の社会福祉法人です。会員数は、全国で約27万6千人に達しております。
鹿児島県社会福祉協議会は、福利厚生センターの鹿児島事務局を運営しています。

1 福利厚生センターのサービス内容

■福利厚生事業を全国で共同化し、規模のメリットを活かして多種多様なサービスを提供しています。

<p>会員の健康のために</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●生活習慣病予防健診費用助成(4千円) 30歳以上の会員が生活習慣病予防健診等を受診した場合、検査項目に応じて助成 ●健康生活用品の給付 毎年、全会員に健康生活に関わる品物の中から希望する1品を給付 ●こころとからだの電話健康相談 相談料・通話料無料 	
<p>会員の慶弔時のために</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●結婚お祝品・出産お祝品・入学お祝品贈呈 会員の結婚、会員とその配偶者の出産の場合、1万円の商品券を贈呈 会員の子が小学校、中学校に入学した場合、5千円の商品券を贈呈 ●永年勤続記念品贈呈(5千円～5万円相当) 勤続5・10・15・20・25・30年を迎えた会員へ記念品の贈呈 ●長期勤続者退職慰労記念品贈呈(2万円相当) ●会員死亡弔慰金 (就業中・通勤時の場合180万円、左記以外の場合60万円) ●配偶者死亡弔慰金(10万円) ●入院手術見舞金(就業中等の事故で入院の場合、1日千円、手術は、内容に応じて給付) ●高度障害・後遺障害見舞金 事故等が原因での高度障害60万円、就業中等の事故での後遺障害 最高120万円(71歳未満) ●災害見舞金(法人20万円、個人1万円) 	
<p>会員の資質向上のために</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●資格取得記念品贈呈(5千円相当) 社会福祉に関する専門資格(対象資格)を取得した場合、記念品を贈呈 ●各種研修会等の開催(海外研修、接遇講習会等) 	
<p>会員のリフレッシュのために</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●クラブ・サークル活動助成(1人当たり千円) 職場における会員間の交流促進等で、スポーツ、文化・教養、行楽等、年2回以上の定例的余暇活動として行われるサークル活動の支援 ●指定保養所 KKR宿泊施設、ダイワロイヤルホテルズ、グリーンピア、休暇村と契約 会員は、優待割引料金+1泊2,500円引き。2種会員は、優待割引料金で利用可 	
<p>会員の生活面のサポートのために</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●特別資金ローン(多目的ローン) ●ソウェル保険(団体生命、医療保障、積立)(傷害、入院、がん) ●結婚・葬祭サービス 	<ul style="list-style-type: none"> ●特別提携住宅ローン ●教育資金・車購入資金等 ●引っ越しサービス 

2 会員交流事業

■鹿児島事務局企画事業として、観劇、コンサート、会食ランチ等に安価な価格で参加いただき、会員間の親睦やリフレッシュに役立つサービスを提供しています。(本年度予算約924万円程)

3 加入について

■社会福祉事業に加え、社会福祉事業以外の介護保険事業も加入対象です。
■掛金は、毎年度1人当たり、1種会員は1万円(常勤・非常勤職員)、2種会員は5千円(非常勤職員)です。
※2種会員は、サービス内容が一部限定されます。

【お問い合わせ先】 〒890-8517 鹿児島市鴨池新町1-7 (県社会福祉センター内)
社会福祉法人 鹿児島県社会福祉協議会 福祉人材・研修センター
福利厚生センター (ソウェルクラブ) 鹿児島事務局
TEL : 099-256-6767 FAX : 099-250-9363 E-mail : jinzai3@kaken-shakyo.jp

11月～2月 楽しく学べる介護講座

番号	講座名	日時	内容	受講料等
1	地域介護講座（北薩地区） 阿久根市中央公民館鶴見分館	11月2日（水） 10:00～15:30	○らくらく！寝返り・起き上がり・立ち上がり・移乗の介助方法 ○ここに注意！誤嚥をふせぐ食事の介助方法 ○これは助かる！福祉用具の選び方・使い方	500円
2	介護職スキルアップ研修 （排泄ケアⅠ）	11月10日（木） 10:00～16:00	○排泄やアセスメントについての基礎知識 ○おむつの選び方・あて方 ○福祉用具を使った排泄の介助方法	4,000円
3	やさしい介護教室C 【県民向け】	11月12日（土） 10:00～15:00	○基本を知ろう！衣服の着脱・歩行の介助方法 ○ここに注意！誤嚥をふせぐ食事の介助方法	500円
4	介護レクリエーション研修	11月16日（水） 10:00～16:00	○簡単な運動や創作を楽しむ介護状態別レクリエーション	3,000円
5	介護食調理教室	12月4日（日） 10:00～15:00	○高齢者が食べやすく、栄養バランスのとれた調理方法 ○補助食品の紹介	3,000円 （材料費込）
6	介護職スキルアップ研修 （排泄ケアⅡ）	12月7日（水） 10:00～16:00	○身体状況に応じたおむつの種類と選び方 ○おむつのあて方のポイント	4,000円
7	介護職スキルアップ研修 （口腔ケア）	12月8日（木） 10:00～16:00	○口腔ケアの基礎知識と方法 ○拒否される方への対応・コミュニケーションのとり方 ○口腔ケア体操	4,000円
8	介護職スキルアップ研修 （体位変換・ポジショニングケア）	1月20日（金） 10:00～16:00	○褥瘡の基礎知識 ○座位・寝姿勢別体位変換・ポジショニング方法 ○車いすのシーティング方法	4,000円
9	介護ロボット体験講座	2月2日（木） 10:00～15:00	○介護ロボットの効果的な利用 ○介護ロボットの操作体験	無料

講座・研修の様子



介護食調理教室



口腔ケア



介護レクリエーション

お問い合わせ先

鹿児島県介護実習・普及センター（福祉用具展示）（運営：社会福祉法人鹿児島県社会福祉協議会）

〒892-0816 鹿児島市山下町14番50号 かごしま県民交流センター2階

TEL 099-221-6615・6616 FAX 099-239-0384

E-mail kaigo-kakenshakyu@po5.synapse.ne.jp

URL <http://www.kagoshima-pac.jp>

【利用時間：9:00～17:00 休館日：月曜日（※祝日の場合は翌日）、12/29～1/3】



※ 掲載の内容については、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、中止または延期となる場合がありますので、ご了承ください。

※ 認知症介護実践者研修等につきましては、本会ホームページ<http://www.kaken-shakyo.jp>内の「介護実習・普及センター研修・講座」ページに掲載していますので、ご確認ください。

県共同募金会からの
お知らせ



☎ 099 (257) 3750
URL <https://akaihane-kagoshima.jp/>

じぶんの町を良くするしくみ

赤い羽根共同募金



今年もご協力をお願いします。

◀ スマホからも募金できます!



赤い羽根空の第一便伝達式



76回目となる令和4年度赤い羽根共同募金運動開始にあたり、恒例の「赤い羽根空の第一便伝達式」が10月1日(土)、ANA鹿児島支店のご協力のもと鹿屋市役所で行われました。

ANA鹿児島支店長の藤崎様から厚生労働大臣のメッセージが県知事と鹿屋市長へ、中央共同募金会会長のメッセージが県共同募金会会長と鹿屋市共同募金委員会会長へそれぞれ手渡されました。

伝達式後には伝達式参加者及びボランティアの方々による街頭募金活動が「ニシムタ鹿屋店」で行われ、多くの皆様が募金にご協力くださいました。ありがとうございました。

今年も赤い羽根共同募金とpiaproが
コラボしました!



Art by nia © Crypton Future Media, INC. www.piapro.net piapro

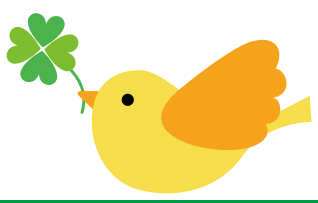
バンドリ! ガールズバンドパーティ! も
赤い羽根共同募金を応援します!



©BanG Dream! Project ©Craft Egg Inc. ©Bushroad All Rights Reserved.

インフォメーション

information



鹿児島県民間社会福祉施設職員退職共済事業のご案内 —福祉職場で働く方の福利厚生充実を目指して—

退職共済事業の目的
民間社会福祉施設職員の福利を増進し、社会福祉事業の振興に寄与することを目的に、昭和63年4月1日にスタートしました。

○安心して働ける職場環境の整備
○福祉人材の確保



・加入事業者数：547施設
・加入者数：10,949人

R4.3.31現在



【掛金について】

掛金は毎月、契約者(事業所)と加入者(職員)が次のとおり負担します。

標準給与月額1000分の50(毎月)
○事業所負担：1000分の25
○職員負担：1000分の25

【給付金について】

給付金は次の2種類で、いずれかの一時金が支給されます。

○退職一時金
加入者が退職した場合に契約者に給付
○遺族一時金
加入者が死亡により退職した場合に契約者に給付

【お問い合わせ先】

社会福祉法人 鹿児島県社会福祉協議会 総務部
〒890-8517 鹿児島市鴨池新町1番7号 鹿児島県社会福祉センター
TEL:099-257-3855 FAX:099-251-6779

詳細はこちらから 



令和4年度 **しせつの損害補償** インターネットで保険料試算できます
社会福祉施設総合損害補償

老人福祉施設、障害者支援施設、児童福祉施設などに **スケールメリットを活かした割安な保険料で充実補償をご提供します!**

◆加入対象は、社協の会員である社会福祉法人等が運営する社会福祉施設です。

プラン1 **施設業務の補償** (賠償責任保険、動産総合保険等)

▶ 保険金額		基本補償(A型)	見舞費用付補償(B型)
賠償事故	身体賠償(1名・1事故)	2億円・10億円	2億円・10億円
	財物賠償(1事故)	2,000万円	2,000万円
	受託・管理財物賠償(期間中)	200万円	200万円
	うち現金支払限度額(期間中)	20万円	20万円
	人格権侵害(期間中)	1,000万円	1,000万円
	身体・財物の損壊を伴わない経済的損失(期間中)	1,000万円	1,000万円
	徘徊時賠償(期間中)	2,000万円	2,000万円
お見舞い等	事故対応特別費用(期間中)	500万円	500万円
	被害者対応費用(1名につき)	1事故10万円限度	1事故10万円限度
	傷害見舞費用		死亡時100万円 入院時1.5~7万円 通院時1~3.5万円

新型コロナウイルスを含む特定感染症に新たな補償が追加されました!

NEW 施設の感染症対応費用補償
休業補償から各種対応費用までワイドな安心
①休業や縮小営業による収益減少はもちろん、収益減少を防止・軽減するための人件費なども補償
②消毒・清掃費用や自主的なPCR検査費用など、かかった費用を幅広く補償
③感染症対応特別費用で定額20万円を早期に受取り

プラン2 **施設利用者の補償**

プラン3 **職員等の補償**

プラン4 **法人役員等の補償**



●この保険は全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約(賠償責任保険、医師賠償責任保険、看護職賠償責任保険、雇用慣行賠償責任保険、役員賠償責任保険、サイバー保険、普通傷害保険、労働災害総合保険、約定履行費用保険、動産総合保険、費用・利益保険)です。

●このご案内は概要を説明したものです。詳細は「しせつの損害補償」手引またはホームページをご参照ください。

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**
〈引受幹事〉損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課
〈保険会社〉
TEL: 03(3349)5137
受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**
〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL: 03(3581)4667
受付時間: 平日の9:30~17:30(土日・祝日、年末年始を除きます。)

広報紙「ふくしのひろば」は本会のホームページでもご覧になれます。また、お問い合わせは総務部にて受け付けております。 TEL 099(257)3855 FAX 099(251)6779 E-mail soumu4@kaken-shakyo.jp ★この広報紙は、共同募金の助成を受けて発行されています。

(SJ21-12224 から抜粋)